

次号予告

特集 暗号は社会を変える

総論—社会を変革する暗号技術	岡本栄司 (東 邦 大 学)
暗号プロトコルとその応用	黒澤 馨, 尾形わかは (東京工業大学)
電子署名と暗号政策	石崎靖敏 (情報通信アナリスト)
電子投票と電子入札	佐古和恵 (日 本 電 気)

編集後記

●1年振りに米国に出張してきました。愛煙家の私にとっては、米国発着のすべての飛行機が完全禁煙になっており、非常にさびしい状況です。米国ではタバコ会社が15兆円の損害賠償訴訟を受けているとか、国全体が完全に禁煙になるのももうすぐのように感じられました。いっそのこと禁酒法の例にならって禁煙法を施行したらすっきりするのではと感じられます。

●米国はまだまだ好景気ようです。今回感じたことは、車の量が以前にも増して多いということです。片側5車線もあるようなフリーウェイが常に両方向とも車であふれているのは壮観です。ビジネスプロセス全体での効率化、最適化による企業競争力の強化が加速しているように感じられます。ERP, DWH, SCMと2, 3年毎にビジネス分野でITを戦略的に活用してきたことがその一因と考えられます。物作りにおいては、日本の製造技術はまだまだ優位性を保っていると思います。ITへの投資が欧米と比べて低いと言われています。ORに携わるものとして、ビジネスモデ

ルを対象とした最適化でITの戦略的な活用に貢献しようではありませんか。

●日本でも、SCM: サプライチェーンマネジメントを実現しようと企業が取り組み出しています。まづは企業内だと、企業内での全体最適を考える事例が増えています。米国の最近のキーワードはe-Businessです。インターネットの爆発的な普及に伴い、サプライチェーン自体も変わりつつあります。これからは、変わりつつあるサプライチェーンをベースにした新しいビジネスプロセスを確立していくことが重要となります。去年のクリスマスでは需要に追いつけなかったAMAZON.comが話題になりました。e-Businessはまだまだ模索の段階です。見えない顧客、手にできない商品の壁をどう突き崩すかがビジネスの決め手ではないでしょうか。米国ではビジネスモデル特許の存在が大きくクローズアップされています。手法アプローチではなくソリューションアプローチが重要になっています。総合科学としてORがますます発展することを期待しています。(宮崎 知明)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 大屋隆生(財電力中央研究所), 北澤英理子(東京ガス(株)), 栗田 治(慶応義塾大学), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 田村明久(京都大学), 中川慶一郎(株)NTTデータ, 難波和明(東京理科大学), 原 裕淳(株)東芝, 平山克己(住友金属システム開発(株)), 松村良平(東京工業大学), 宮崎知明(富士通(株)), 山下英明(東北大学), 吉野秀明(日本電信電話(株))

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成12年9月号 第45巻 第9号 通巻477号

代表者 長谷川 利治

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル

電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337), 日経弘報社(3563-2241)へ